

日本スポーツ少年団「第10次育成6か年計画」 －アクションプラン2017－ 作成方針

1. 方針:

- (1) 内容: 「第9次育成5か年計画[2012年(平成24)度～ 2016年(平成28)度]」の内容を基本的に踏襲し、その達成状況に基づく項目の整理(終了、継続)と新たな取組みの追加を検討する
- (2) 期間: 2017年(平成29)度～ 2022年(平成34)度 6年間
- (3) 名称: 日本スポーツ少年団「第10次育成6か年計画」－ アクションプラン2017 －
～スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献しよう～

参考: 「第9次育成5か年計画」

- 「スポーツ少年団の将来像」を中心に、また、スポーツ立国戦略及びスポーツ基本法の内容も踏まえ、国が定める諸施策等の内容も十分に念頭においた内容
- 期間: 2012年(平成24)度～ 2016年(平成28)度

2. スケジュール: 詳細別紙参照

2016年(平成28) 骨子案の検討／具体案の作成・意見聴取・修正

2017年(平成29) 最終案の確認(ブロック会議)／3月・計画の審議／4月1日・計画の施行

3. 背景・経過: 詳細別紙参照

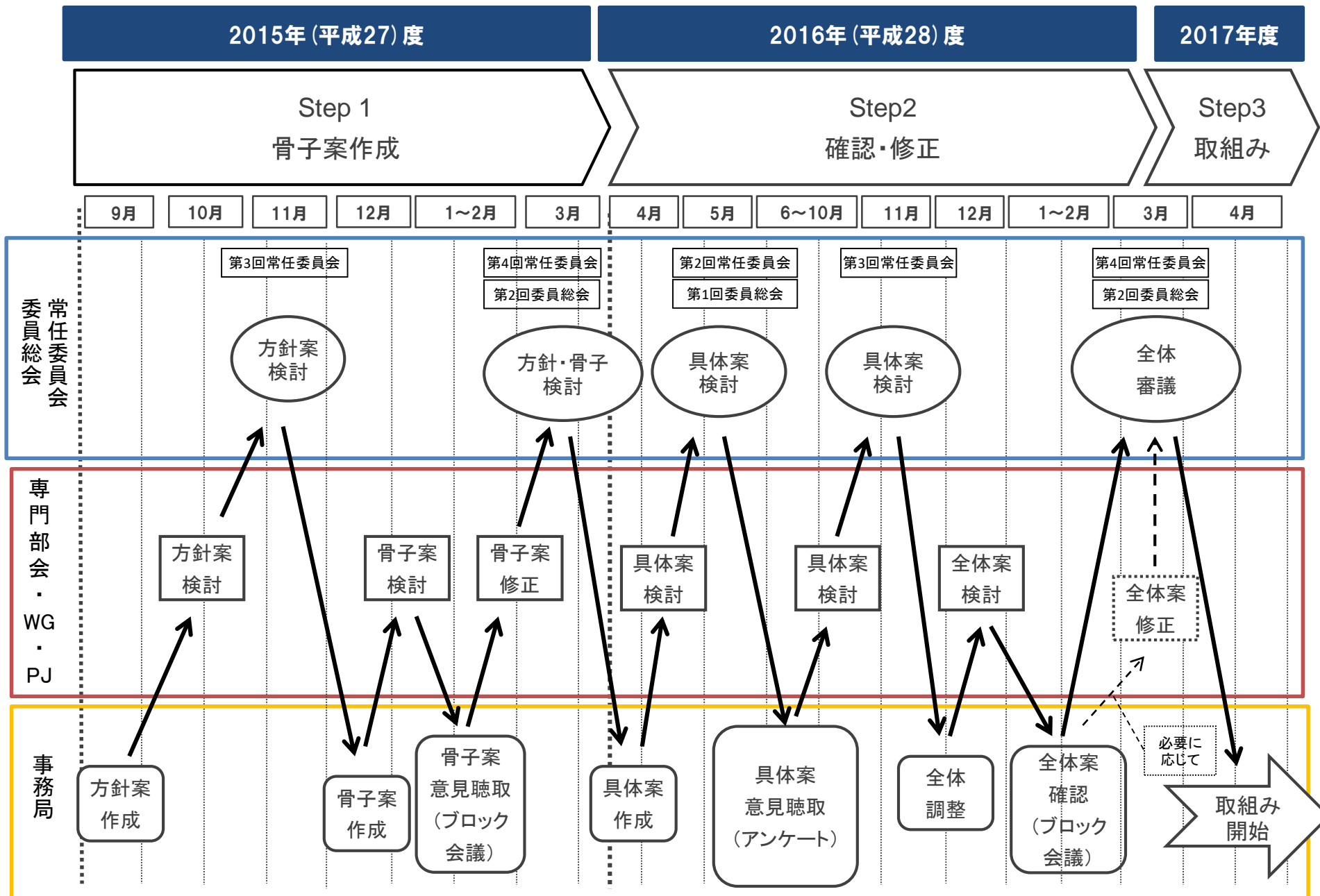
2009年(平成21) 6月10日 「スポーツ少年団の将来像」

2011年(平成23) 6月24日 「スポーツ基本法」公布 ※同年8月24日施行

7月 「スポーツ宣言日本」

2012年(平成24) 4月1日 「第9次育成5か年計画」施行

2013年(平成25) 6月26日 「21世紀の国民スポーツ推進方策－スポーツ推進2013－」策定

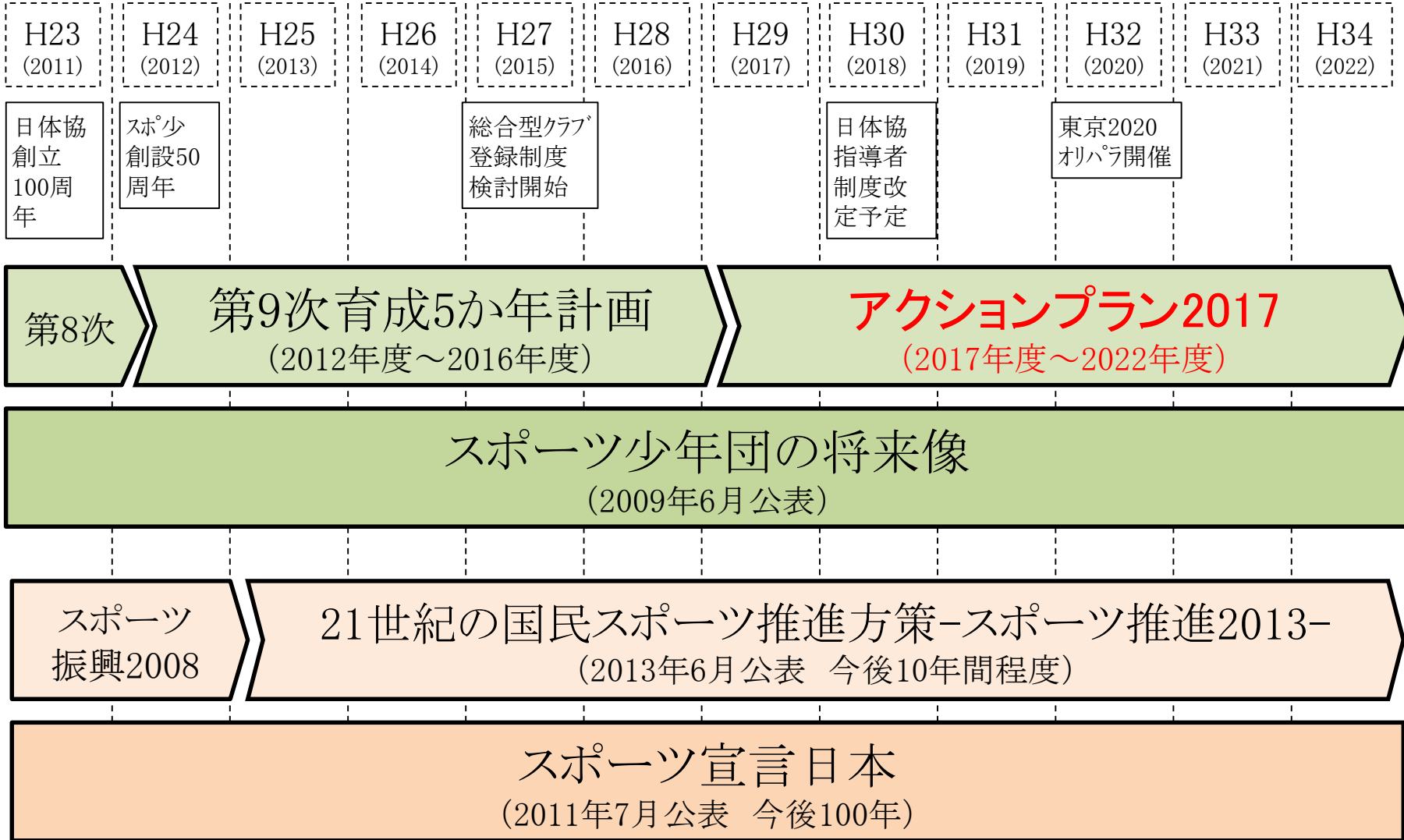


日本体育協会日本スポーツ少年団 中長期施策

主な出来事

スポーツ少年団

日本体育協会



日本体育協会日本スポーツ少年団 中長期施策概要

【スポーツ宣言日本(2011年7月公表)】・・・概ね100年

21世紀においてスポーツが果たすべき社会的使命としてのグローバル課題を提示

グローバル課題

- ・「公正で福祉豊かな地域生活」の創造への寄与
- ・「環境と共生の時代を生きるライフスタイル」の創造への寄与
- ・「平和と友好に満ちた世界」の構築への寄与

【スポーツ推進2013(2013年6月公表)】・・・2013年からの10年間程度

「スポーツ宣言日本」で示されたグローバル課題を踏まえ、今後の事業推進の基本理念を新たに提示するとともに、具体的な事業推進方策を策定

【スポーツ少年団の将来像(2009年6月公表)】・・・近い将来の方向性

これまでのスポーツ少年団の理念を再確認すると共に、新たな理念を追加し、今後のスポーツ少年団が進むべき方向性を示した

＜日本スポーツ少年団の理念＞

- ・一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- ・スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- ・スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

＜具体的な取り組みの方向性と活動目標＞

- ・子どもたちのからだところを育てる（体力低下への対応、青少年の健全育成）
- ・子どもたちや地域社会のニーズに応える組織の構築
（子どもに対するスポーツ環境の創造、育成母集団の充実、総合型クラブとの連携）
- ・活動の更なる充実（運動適性テストの推進、勝利至上主義への対応、中高校生のスポーツ活動の促進）
- ・各種事業の展開（指導者等の資質向上、国際人の育成、国内交流活動の促進）